# R6本格調査の結果(乳用牛)に対する「達成」水準の案(案の1と案の2)の比較

		I du A	ı	現状107	い小牛系		いる場合に(			
	4 -04-7	割合	案の2			案の1案	の2 案	の1 -	案の1	案の2
1日1回以上、牛の飼養環境や健康状態を確認している。	あてはまる	92.0%	i i			i i		0.0%		
	ややあてはまる	7.2%			92.0%	- 1	7.	2% 0. <mark>8</mark> %	0	0
	あまりあてはまらない	0.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.0%	30.0%	00.076	70.076	80.076	90.0%	100.0%		
飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	あてはまる	65.8%				-				
	ややあてはまる	26.2%	]	65.8%		26.2%	5.9	% 2.1%		0
	あまりあてはまらない	5.9%	50.0%	50.00/	70.00/	80.0%	00.00/	100.00/		
	あてはまらない	2.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
牛に不要なストレスを与える突発的な行動や手荒な扱いを	あてはまる	77.0%						0.0%		
避けるとともに、牛を取り扱う際に使用する道具は、不要な	ややあてはまる	21.1%		77.0%	3		21.1%	1.9%		0
痛みを与える可能性のあるものを避けるなど、可能な限り牛	あまりあてはまらない	1.9%				1				
を丁寧に取り扱っている。	あてはまらない	0.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
除角は、獣医師等※の指導の下、可能な限り苦痛を生じさせ	あてはまる	64.3%				- !				
ない時期と方法を選択している。	ややあてはまる	22.0%		64.3%	22	2.0%	10.4%	3.3%		
※処置に係る知識と熟練した技術を有する者	あまりあてはまらない	10.4%				1				0
	あてはまらない	3.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
除角は、触ると角が分かるようになる時期以降で、角が未発	あてはまる	61.4%	!			1				
達の時期(遅くとも生後2か月以内)に行っている。または、	ややあてはまる	20.1%		61.4%	20.1%	i	9.1% 9.4	1%		
角が発達後に除角する場合、常に獣医師による麻酔薬の投	あまりあてはまらない	9.1%	1 !							
与の下で行っている。	あてはまらない	9.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
断尾は行っていない。	あてはまる	85.0%	!				0.8%			
	ややあてはまる	2.7%			85.0%	i	2.7% 11.5	<b>Y</b> 6		
	あまりあてはまらない	0.8%	!							0
	あてはまらない	11.5%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
耳標を装着する際、牛へのストレスを極力減らし、可能な限	あてはまる	86.9%						0.3%		
り苦痛を生じさせないよう、適切な位置に装着している。	ややあてはまる	11.2%			86.9%	i	11.2%			
	あまりあてはまらない	1.6%				!			0	0
	あてはまらない	0.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
こまめに蹄を観察し、定期的に削蹄を行っている。	あてはまる	85.9%				Į.				
	ややあてはまる	10.9%			85.9%		10.9%	2.43%8%		
	あまりあてはまらない	2.4%							0	0
	あてはまらない	0.8%	50. <b>b</b> %	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
搾乳作業は牛に苦痛やストレスがかからないように配慮して	あてはまる	88.0%	!			1		0.3%		
いる。	ややあてはまる	10.2%			88.0%	 	10.2%	•		
	あまりあてはまらない	1.6%							0	0
	あてはまらない	0.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	なってあるらなり。	0.0/0					•	<u> </u>		

交配する種雄牛や性選別精液の選択に注意している。ややあて	る	82.4%				100		1.1%		
	はまる	14.4%			82.4%		14.4%	2.1%	0	0
あまりあ <sup>-</sup>	てはまらない	2.1%	1			1 1		I	0	
あてはま	らない	1.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
妊娠牛には、分娩前に清潔で快適な環境(敷料、分娩房の あてはま	る	56.8%	- 1			- ! !		1		
提供、適切な気温、衛生等)を提供している。 ややあて	はまる	35.7%	56.8%		35.7	%	5	. <b>9</b> % 1.6%		0
あまりあっ	てはまらない	5.9%	50. <mark>.</mark> 0%	60.00/	70.0%	80.b%	00.00/	100.00/	_	
あてはま	らない	1.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
夜間の分娩に備えた照明、保温及び滑り止めのための敷料  あてはま		60.3%						I		
等を提供している。 ややあて	はまる	28.8%	60.3%	6	28.8	%	8.3%	2.7%		0
あまりあ <sup>-</sup>	てはまらない	8.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	I 100.0%		
あてはま		2.7%	50:0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
新生子牛は丁寧に取り扱い、出荷等の輸送をする場合は臍 あてはま		85.3%				-		I 0.3%		
帯が乾燥した後に行っている。 ややあて		11.7%			85.3%	1 1	11.7%	2.7%	0	0
	てはまらない	2.7%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	)	
あてはま		0.3%	30.0%	60.0%	70.0%	00.0%	90.0%	100.0%		
出生した子牛には、24時間以内(最も効果的なのは6時間以 あてはま		89.9%	- 1			-		0.0%		
内)に良質な初乳を十分量飲ませている。 ややあて		9.9%			89.9%	1 1	9.9	0.3%	0	0
	てはまらない	0.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	100.0%	)	
あてはま		0.0%	30.076	00.076	70.0%	I I	30.076	100.0%		
疾病に罹患した牛又は損傷した牛について、治療等の対応しあてはま		90.9%	- 1			- 1 1		0.0%		
を決めるため、獣医師による速やかな診断を受けている。		8.6%			90.9%	1 1	8.	<b>6</b> % 0. <b>5</b> %	0	0
	てはまらない	0.5%	50 0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	100.0%	)	
あてはま		0.0%	30.070	00.070	70.070	00.076	30.070	100.070		
牛舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保って <u>あてはま</u>		65.0%	- 1			- 1 1		0.0%		
いる。 ややあて		32.9%	6	5.0%		32.9%		2.1%		0
	てはまらない	2.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
あてはま		0.0%	30.070	00.070	70.070	1 1	30.070	100.070		
家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守する。あてはま		55.3%				-		! !		
とともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝ややあて		37.4%	55.3%		37.4%	6   1	(	1.1%	_	0
	てはまらない	6.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
あてはま		1.1%	1	00.070	70.070	1 1	30.070	100.070		
病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入しあてはま		52.3%	52.3%			- ; ;		! !		
及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除していややあて		41.1%			41.1%	- 1 1		6.1% 0.5%	_	0
	てはまらない	6.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
あてはま		0.5%	1	30.070	, 0.0,0		30.070	1		
アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身にあてはま		23.3%				<u> </u>		<u> </u>		
付けている。ややあて		46.5%		46.5%		24.3%		5.9%		
	てはまらない	24.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	_
改善方法の例:同居する個体による傷であれば群構成を変 更するなど あてはま	らない	5.9%	I I	30.070	, 5.5,5	I I	30.075	I I		

牛の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数		48.5%	1			1 1				
の飼養者等を確保している。	ややあてはまる	32.7%		3:	2.7%		16.1%	2.7%		
	あまりあてはまらない	16.1%	F0-00/	60.0%	70.0%	00.00/	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	2.7%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
発育段階や泌乳ステージ等に応じて、毎日、飼料及び水を	あてはまる	70.4%	i i			i ji		0.0%		
質及び量ともに満たすよう給与し、適正なボディコンディショ	ややあてはまる	27.2%		70.4%		27.2	%	2.4%		0
ンの範囲を逸脱しないように管理している。	あまりあてはまらない	2.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.0%	30.0%	00.076	70.076	80.p/s	30.076	100.0%		
全ての牛が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取で	あてはまる	84.5%	1			1.1		0.0%		
きるよう、飼槽や給水器など給餌及び給水の設備を設置して		14.1%			84.5%		14.1%	1.3%	0	0
いる。	あまりあてはまらない	1.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.0%	30.0%	00.076	70.076	80.p/	30.076	100.0%		
給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行ってい	あてはまる	78.3%	1			1.1		0.0%		
る。	ややあてはまる	18.8%		78.3	3%		18.8%	2.9%		0
	あまりあてはまらない	2.9%	50 <sub>1</sub> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.0%	30,070	00.070	70.070	1	30.070	100.070		
牛舎や牛房、通路、搾乳室等は、牛が損傷しないよう、適切	あてはまる	67.7%	1			1.1		0.3%		
に設計・管理している。	ややあてはまる	27.7%		67.7%		27.7%		4.3%		0
	あまりあてはまらない	4.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.3%	I	00.070	70.070	1 1	30.070	200.070		
牛床には敷料があり、清潔で乾燥した横臥場所を提供してい		69.8%	3			1. 1.		1.3%		
[ ం	ややあてはまる	24.1%		69.8%		24.1%		4.8%		0
	あまりあてはまらない	4.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.3%	1							
全ての牛に対して、妨げられることなく横臥し、休息し、起立	あてはまる	60.4%						0.8%		
し、毛繕いするために十分な空間を与えている。	ややあてはまる	34.0%	60	).4%		34.0%		4.8%		0
	あまりあてはまらない	4.8%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
+0.18A=. 1 0 aA=1 1 a. = 11.1 +0.181 a. 1.1 10.48	あてはまらない	0.8%								
繋ぎ飼い方式で飼われている牛は、繋がれていない状態で	あてはまる	26.7%								
運動が十分にできるようにしている。	ややあてはまる	19.9%		25.8%		2	27.5%			
	あまりあてはまらない	25.8%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	27.5%	i i			- i i				
繋ぎ飼い方式の場合でカウトレーナーを使用する場合は、適		64.1%								
切な方法で設置し、使用している。	ややあてはまる	17.0%		64.1%	17.0%	4.6%	14.4%			_
	あまりあてはまらない	4.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	14.4%	i i			- i i		i		
フリーストール牛舎の場合、少なくとも1頭当たり1牛床を準	あてはまる	79.7%								
備している。	ややあてはまる	16.5%		79.	7%		16.5%	3.0% 0.8%		0
	あまりあてはまらない	0.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	3.0%						<u>.                                    </u>		

										ı
放牧している場合、電気牧柵やゲート等、牛への損傷を防止		79.6%	1					.0%		
するように正しく設置及び維持している。	ややあてはまる	15.9%		79.6	%		15.9%	4.4%		0
	あまりあてはまらない	0.0%	50 <sub>1</sub> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	4.4%	30,070	00.070	70.070	50.p/0	30.070	100.070		
牛が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っ		65.6%	i			1		0.0%		
ている。	ややあてはまる	32.0%		65.6%		32.0%		2.4%		0
	あまりあてはまらない	2.4%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.0%	30,070	00.070	70.070	00.070	30.070	100.070		
牛舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮	あてはまる	71.9%	i			i i		0.3%		
な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	ややあてはまる	26.5%		71.9%		2	6.5%	1.3%		0
	あまりあてはまらない	1.3%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	0.3%	30,0%	00.076	70.076	80.076	30.076	100.0%		
「乳用牛の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェッ	あてはまる	42.6%	j					į į		
クリスト等(その他類似するチェックシートを含む)を用いるな	ややあてはまる	36.7%		36.7	%		15.5%	5.1%		
ど、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状		15.5%	50 <sub>1</sub> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
を確認している。	あてはまらない	5.1%	30,070	00.076	70.076	80.076	30.076	100.0%		
搾乳機等の設備が正常に作動しているか少なくとも1日1回	あてはまる	80.5%	i			i		0.3%		
点検し、故障を発見した場合、迅速に修理している。	ややあてはまる	17.6%		80.	5%		17.6%	1.6%	0	0
	あまりあてはまらない	1.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.3%	30,070	00.070	70.070	00.070	30.070	100.070		
災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マ	あてはまる	31.7%	į į			į į		i i		
ニュアル(緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの)等を整	ややあてはまる	29.1%	29.	1%	28.0	0%	11.7	2 <b>%</b>		
備している。	あまりあてはまらない	28.0%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	11.2%	30,070	00.070	70.070	00.070	30.070	100.070		
	あてはまる	25.4%						İ 1		
者と共有している。	ややあてはまる	30.7%	30.7%		32.1%		11.8	%		
	あまりあてはまらない	32.1%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	11.8%	30.070	00.070	70.070	00.070	30.070	100.070		
自然災害等の影響により、牛や牛舎等に被害が生じるおそ	あてはまる	39.1%						İ i		
れがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	ややあてはまる	39.4%		39.49	6		14.7%	5.7%		
	あまりあてはまらない	14.7%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	6.7%	1	00.070	70.070	00.070	30.070	100.070		
警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推	あてはまる	48.0%						i i		
奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	ややあてはまる	31.3%		31.3	%		15.2%	5.6%		
	あまりあてはまらない	15.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	5.6%	1	00.070	, 0.0/0	55.070	33.070	1 100.070		
家畜の輸送に携わる全ての者が、家畜を丁寧に取扱い、責	あてはまる	76.5%						İ		
任を持って家畜を輸送している。	ややあてはまる	19.7%		76.5%			19.7%	2.5%		0
	あまりあてはまらない	1.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	1.4% 100.0%		
	あてはまらない	2.5%	3010/0	00.070	70.070	GU.D70	50.070	100.070		

輸送が家畜にとって過度な負担とならないよう、また、不要な	あてはまる	75.1%				į i	i			
ストレスを与えないよう注意している。	ややあてはまる	19.9%		75.1%		19.9		3.0%		0
	あまりあてはまらない	1.9%	F0 00/	60.00/	70.00/	00.00/	1.9%	-	_	0
	あてはまらない	3.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
輸送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	あてはまる	72.6%				- i i	i i			
	ややあてはまる	20.5%		72.6%		20.5%	3.0% 3	3.8%		0
	あまりあてはまらない	3.0%	50.0%	60.0%	70.0%	90.00/	00.0%	100.00/	_	0
	あてはまらない	3.8%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
家畜の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の	あてはまる	49.8%				- i i	i	ı		
中にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関す	ややあてはまる	26.3%		26.3%		19	0.6%	.3%		
る事項が盛り込まれている。	あまりあてはまらない	19.6%	50.00/	60.00/	70.00/	00.00/	00.00/	100.00/	_	
	あてはまらない	4.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまる	73.5%				- i i	i i			
楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安	ややあてはまる	18.1%		73.5%		18.1%	5.0%	3.4%		0
楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	あまりあてはまらない	5.0%	FO 00/	60.0%	70.0%	90.00/	90.0%	100.00/		
	あてはまらない	3.4%	50.0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		

## R6本格調査の結果(肉用牛)に対する「達成」水準の案(案の1と案の2)の比較

			1	現	かぶ 学業を	と超えて	いる場合に	し、超えし		
		割合	案の2			案の1案	<b>თ</b> 2 🤰	<b>€</b> の1	案1	案2
1日1回以上、牛の飼養環境や健康状態を確認している。	あてはまる	91.5%				i i	i i	0.1%		
	ややあてはまる	7.7%			91.5%		7	7. <b>7</b> % 0.7%	0	0
	あまりあてはまらない	0.7%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.1%	30.0%	00.076	70.0%	80.076	90.0%	100.0%		
飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	あてはまる	41.0%				- 1				
	ややあてはまる	30.5%		30.5%		18.8%	9	. <mark>8</mark> %		
	あまりあてはまらない	18.8%	50.0%	50.00/	70.00/	00 ho/	00.007	100.00/		
	あてはまらない	9.8%	50:0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
牛に不要なストレスを与える突発的な行動や手荒な扱いを	あてはまる	80.8%				- 1		0.1%		
避けるとともに、牛を取り扱う際に使用する道具は、不要な	ややあてはまる	17.9%		8	0.8%	i	17.9%	1.2%		
痛みを与える可能性のあるものを避けるなど、可能な限り牛	あまりあてはまらない	1.2%	1			1			0	0
を丁寧に取り扱っている。	あてはまらない	0.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
除角は、獣医師等※の指導の下、可能な限り苦痛を生じさせ	あてはまる	70.0%	1 !				I			
ない時期と方法を選択している。	ややあてはまる	21.4%		70.0%		21.4%	6.0	0% 2.5%		
※処置に係る知識と熟練した技術を有する者	あまりあてはまらない	6.0%	1			1				0
	あてはまらない	2.5%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
除角は、触ると角が分かるようになる時期以降で、角が未発	あてはまる	31.2%	!			- !		1		
達の時期(遅くとも生後2か月以内)に行っている。または、	ややあてはまる	29.2%		29.2%	14.4%	i	25.1%	i		
角が発達後に除角する場合、常に獣医師による麻酔薬の投	あまりあてはまらない	14.4%	1			1				
与の下で行っている。	あてはまらない	25.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
去勢は、獣医師等※の指導の下、可能な限り苦痛を生じさせ		88.8%	!!			- !	l .	I I 1.2%		
ない時期と方法を選択している。	ややあてはまる	8.7%			88.8%	i	8.7%	1.2%		
※処置に係る知識と熟練した技術を有する者	あまりあてはまらない	1.2%	l !			1		!	0	0
	あてはまらない	1.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
去勢は、生後3か月以内に行っている。または、3か月齢を	あてはまる	64.1%	!			- !		1		
	ややあてはまる	21.7%		64.1%	21.	7%	8.3%	5.9%		
て獣医師の指導を求め、必要と判断された場合は、獣医師	あまりあてはまらない	8.3%	1 !			1	I	!		0
による麻酔薬や鎮痛剤の投与の下で行っている。	あてはまらない	5.9%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
耳標を装着する際、牛へのストレスを極力減らし、可能な限	あてはまる	88.0%	!					1.1%		
り苦痛を生じさせないよう、適切な位置に装着している。	ややあてはまる	9.4%			88.0%	i	9.4%	1.5%		
	あまりあてはまらない	1.5%				!		!	0	0
	あてはまらない	1.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
こまめに蹄を観察し、定期的に削蹄を行っている。	あてはまる	58.9%	!					1		
	ややあてはまる	27.4%		58.9%	27.4%	i i	9.5%	4.2%		
	あまりあてはまらない	9.5%				!		!		0
	あてはまらない	4.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	W C 100 0 5 00	1.2/0						-		

鼻環を装着する際、牛へのストレスを極力減らし、可能な限	あてはまる	86.4%						0.5%		
り苦痛を感じさせないよう、素早く適切な位置に装着してい	ややあてはまる	12.2%			86.4%		12.2%	0.9%	0	0
<b>్</b> స	あまりあてはまらない	0.9%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.5%	I	001070	70.070	I	1	1001070		
鼻環を装着した後は、過度に捻る等の不適切な使用はせ	あてはまる	86.1%				- ;		0.5%		
ず、誤って牧柵等に鼻環を引っかけて牛が損傷しないように	ややあてはまる	13.2%			86.1%	I	13.2%	0.2%	0	0
注意している。	あまりあてはまらない	0.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.5%	1	00.070	70.070	I	1	100.070		
繁殖にあたり、雌牛の性成熟の程度や体格等を考慮して、	あてはまる	87.2%				- ;		0.0%		
交配する種雄牛や性選別精液の選択に注意している。	ややあてはまる	11.4%			87.2%		11.4%	1.4%	0	0
	あまりあてはまらない	1.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.0%	1	00.070	70.070	J0.070	30.070	100.070		
妊娠牛には、分娩前に清潔で快適な環境(敷料、分娩房の	あてはまる	73.6%				-		0.3%		
提供、適切な気温、衛生等)を提供している。	ややあてはまる	25.3%		73.6%		Į.	125.3%	0.8%		0
	あまりあてはまらない	0.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.3%	1	00.070	70.070	I	J0.070	100.070		
夜間の分娩に備えた照明、保温及び滑り止めのための敷料	あてはまる	79.5%				-		0.3%		
等を提供している。	ややあてはまる	18.6%		79	0.5%	ļ.	18.6%	1.6%		0
	あまりあてはまらない	1.6%	50 <mark>!</mark> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	0.3%	1	00.076	70.076	80.076 I	90.0%	100.076		
出生した子牛には、24時間以内(最も効果的なのは6時間以	あてはまる	86.9%				-		0.0%		
内)に良質な初乳を十分量飲ませている。	ややあてはまる	12.7%			86.9%	1	12.7%	0.3%	0	0
	あまりあてはまらない	0.3%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.0%	1	00.070	70.070	I	J0.070	100.070		
離乳は、反芻機能の発達に応じて段階的に行い、子牛の成	あてはまる	79.7%				- 1		0.3%		
長に影響を与えることなく、良好な飼養環境を確保している。	ややあてはまる	18.4%		79	9.7%	ļ.	18.4%	1.6%		0
	あまりあてはまらない	1.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	0.3%	1	00.076	70.076	80.076 I	90.0%	100.076		
疾病に罹患した牛又は損傷した牛について、治療等の対応	あてはまる	92.4%	1			-		0.0%		
を決めるため、獣医師による速やかな診断を受けている。	ややあてはまる	7.2%			92.4%	1	7	2% 0.4%	0	0
	あまりあてはまらない	0.4%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.0%	1	00.070	70.070	I	J0.070	100.070		
牛舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保って	あてはまる	67.1%				-				
いる。	ややあてはまる	30.9%		67.1%		30.99		1.9.%%		0
	あまりあてはまらない	1.9%	50 <mark>!</mark> 0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	0.1%	1	00.076	70.076	80.076 I	90.0%	100.076		
家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守する	あてはまる	52.3%	<b>5</b> 2.3%			-				
とともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝	ややあてはまる	38.2%			38.2%	į	8.19	6 1.4%		0
染性疾病の発生予防に必要な知識を習得している。	あまりあてはまらない	8.1%	50 <b>!</b> 0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.4%	1	00.070	70.070	I	90.076	100.076		

	あてはまる	53.8%						I I		
及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除してい	ややあてはまる	39.7%	53.8%		39.7%	i		6.2%0.3%		0
る。	あまりあてはまらない	6.2%	<b>i</b> 50 <b>l</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>b</b> %	90.0%	I 100.0%	_	
	あてはまらない	0.3%	50 <b>!</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に	あてはまる	32.4%	1							
付けている。	ややあてはまる	42.1%		42.1%		19	4%	6.1%		
指標の例:損傷率	あまりあてはまらない	19.4%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	I 100.0%		
改善方法の例:同居する個体による傷であれば群構成を変 更するなど	あてはまらない	6.1%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0% 	1 100.0% 1		
牛の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数	あてはまる	55.3%	i			i i		i ,		
の飼養者等を確保している。	ややあてはまる	34.6%	55.3%		34.6%		6.3%	3.7%		
	あまりあてはまらない	6.3%							_	0
	あてはまらない	3.7%	50 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
発育段階や肥育ステージ、妊娠ステージ等に応じて、毎日、	あてはまる	74.3%	- 1			- ;	,	0.0%		
飼料及び水を質及び量ともに満たすよう給与し、適正なボ	ややあてはまる	24.6%		74.3%			24.6%	1.1%		
	あまりあてはまらない	1.1%							_	0
	あてはまらない	0.0%	50 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
粗飼料を一定の割合で給与するとともに、ビタミンAをはじめ	あてはまる	74.2%	- 1			- ;	,	I I 0.3%		
とする栄養の適切な給与に注意している。	ややあてはまる	22.1%		74.2%		2	2.1%	3.4%		
	あまりあてはまらない	3.4%							_	0
	あてはまらない	0.3%	50 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
全ての牛が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取で	あてはまる	84.1%				- ;	,	0.3%		
きるよう、飼槽や給水器など給餌及び給水の設備を設置して	ややあてはまる	14.6%			84.1%		14.6%	1.1%		
いる。	あまりあてはまらない	1.1%							0	0
	あてはまらない	0.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行ってい	あてはまる	78.2%				- ;	,	I I 0.4%		
る。	ややあてはまる	20.4%		78.2	%		20.4%	1.1%		
	あまりあてはまらない	1.1%							_	0
	あてはまらない	0.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
牛床には敷料があり、清潔で乾燥した横臥場所を提供してい	あてはまる	61.7%				- ;	,	I 0.4%		
る。	ややあてはまる	34.1%	61.7	7%		34.1%		3.8%		
	あまりあてはまらない	3.8%							_	0
	あてはまらない	0.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
全ての牛に対して、妨げられることなく横臥し、休息し、起立	あてはまる	72.4%				- 1	,	I I 0.1%		
し、毛繕いするために十分な空間を与えている。	ややあてはまる	25.5%		72.4%		2	5.5%	2.0%		
	あまりあてはまらない	2.0%							_	0
	あてはまらない	0.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまる	40.1%	- 1				,	I I .		
	ややあてはまる	31.2%		31.2%		19.1%	9.	<b>7</b> %		
	あまりあてはまらない	19.1%							_	_
	あてはまらない	9.7%	50 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		

放し飼い方式の場合、牛同士の闘争や競合による損傷が発	あてはまる	71.9%			1	i		1.0%		
生しないよう、よく観察し、飼養密度や牛群の編成に注意して	ややあてはまる	23.9%		71.9%		23.	9%	3.1%		0
いる。	あまりあてはまらない	3.1%	50 00/	50.007	70.00/	20 20/	00.00/	100.00/		
	あてはまらない	1.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
放牧している場合、電気牧柵やゲート等、牛への損傷を防止	あてはまる	72.2%				, ,	,			
するように正しく設置及び維持している。	ややあてはまる	21.8%		72.2%		21.8	% 2.4	%3.6%		0
	あまりあてはまらない	2.4%	F0 00/	60.0%	70.0%	20.00/	00.00/	100.00/	_	
	あてはまらない	3.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
牛が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っ	あてはまる	65.0%				- ;	,	0.3%		
ている。	ややあてはまる	30.8%		65.0%		30.8%		3.9%		0
	あまりあてはまらない	3.9%	50.0%	60.0%	70.0%	90.00/	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	0.3%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
牛舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮	あてはまる	71.4%				i i		0.1%		
な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	ややあてはまる	26.6%		71.4%		26	5.6%	1.9%		0
	あまりあてはまらない	1.9%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	0.1%	30.0%	00.076	70.076	60.p/6	90.0%	100.076		
「肉用牛の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェッ	あてはまる	26.3%				į į				
クリスト等(その他類似するチェックシートを含む)を用いるな	ややあてはまる	38.2%		38.2%		25.6%	9.9	%		
ど、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状		25.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
を確認している。	あてはまらない	9.9%	30,070	00.070	70.070	00. <b>p</b> /0	J 30.070	100.070		
災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マ	あてはまる	24.9%	i			1 1				
ニュアル(緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの)等を整	ややあてはまる	33.1%	33.:	1%	27.0%		15.0%			
備している。	あまりあてはまらない	27.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	15.0%				1				
危機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係	あてはまる	24.0%	į į			1 1		i		
者と共有している。	ややあてはまる	33.9%	33.	9%	27.6%		14.4%			
	あまりあてはまらない	27.6%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	14.4%	1	00.07		1				
自然災害等の影響により、牛や牛舎等に被害が生じるおそ	あてはまる	41.3%								
れがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	ややあてはまる	36.8%		36.8%	S		16.8%	5.1%	_	
	あまりあてはまらない	16.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	5.1%				1				
警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推	あてはまる	26.1%								
奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	ややあてはまる	33.6%	33	3.6%	25.6%		14.7%			
	あまりあてはまらない	25.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	14.7%								

家畜の輸送に携わる全ての者が、家畜を丁寧に取扱い、責	あてはまる	87.4%			1	i		1.6%		
任を持って家畜を輸送している。	ややあてはまる	10.7%			83.4%		14.1%		0	
	あまりあてはまらない	0.4%	50.0%	60.00/	70.0%	00 00/	00.00/	0.8%	0	O
	あてはまらない	1.5%	50.0%	60.0%	70.0%	80. <mark>0</mark> %	90.0%	100.0%		
輸送が家畜にとって過度な負担とならないよう、また、不要な	あてはまる	83.4%				- ; ;		1.6%		
ストレスを与えないよう注意している。	ややあてはまる	14.1%			83.4%		14.1%		0	0
	あまりあてはまらない	0.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.8%	0	
	あてはまらない	1.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
輸送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	あてはまる	84.5%				, ,		1.9%		
	ややあてはまる	12.8%			84.5%		12.8%		0	0
	あまりあてはまらない	0.8%	50.0%	60.00/	70.0%	80.0%	90.0%	0.8%	0	
	あてはまらない	1.9%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまる	53.8%				- ; ;		1		
中にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関す	ややあてはまる	35.2%	53.8%		35.2%		7.5%	3.5%		0
る事項が盛り込まれている。	あまりあてはまらない	7.5%	50.0%	60.00/	70.0%	00 00/	00.00/	400.00/	_	
	あてはまらない	3.5%	50.0%	60.0%	70.0%	80. <mark>0</mark> %	90.0%	100.0%		
獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安	あてはまる	67.4%				- ; ;		i i		
楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安	ややあてはまる	20.5%		67.4%		20.5%	6.9%	5.2%		0
楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	あまりあてはまらない	6.9%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	5.2%	30.0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		

## R6本格調査の結果(豚)に対する「達成」水準の案(案の1と案の2)の比較

		T .		5亿八世	ノ、但んし	しいない珍				
		割合	案の2			案の1案(	か2 案	の1	案1	案2
1日1回以上、豚の飼養環境や健康状態を確認している。	あてはまる	97.1%						0.0%		
	ややあてはまる	2.9%			97.19	%		2.9%	0	0
	あまりあてはまらない	0.0%	F0 00/	60.00/	70.00/	00 00/	00.0%	0.0%		
	あてはまらない	0.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	あてはまる	67.2%								
	ややあてはまる	19.9%		67.2%		19.9%	7.8%	5.1%		0
	あまりあてはまらない	7.8%	50 <mark>.</mark> 0%	60.00/	70.00/	00 00/	00.00/	100.00/	_	
	あてはまらない	5.1%	50:0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
豚に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを	あてはまる	86.7%						0.2%		
避けるなど、可能な限り豚を丁寧に取り扱っている。	ややあてはまる	12.9%			86.7%	i	12.9%		0	0
	あまりあてはまらない	0.2%	50 <mark>.</mark> 0%	60.0%	70.0%	80.5%	90.0%	0.2% 100.0%		
	あてはまらない	0.2%	50:0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
未経産豚は、十分な身体的成熟に達するまで繁殖に供さな	あてはまる	95.1%						0.2%		
いようにしている。	ややあてはまる	4.5%			95.1%	1 1		4.5%	0	0
	あまりあてはまらない	0.2%	50.0%	60.00/	70.00/	00 00/	90.0%	0.2% 100.0%		
	あてはまらない	0.2%	50:0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
分娩予定日の少なくとも1日前には分娩区域に繁殖雌豚が	あてはまる	62.3%								
利用できる巣材(またはそれに代わるもの)を提供している。	ややあてはまる	6.2%	62	2.3% 6.	.2% 8.3%		23.2%			
	あまりあてはまらない	8.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	_
	あてはまらない	23.2%	50:0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
新生子豚の管理において、通常、3週齢以上で離乳してい	あてはまる	90.6%				-		1.3%		
る。	ややあてはまる	7.0%			90.6%	1	7.0%		0	0
	あまりあてはまらない	1.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	1.1%		
	あてはまらない	1.3%	30.0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
早期離乳は疾病管理を目的とし、子豚の生理学的特性を十	あてはまる	74.7%				-				
分に理解し、必要な設備を備えた上で行っている。	ややあてはまる	10.7%		74.7%		10.7%	3.8% 10.7	%		0
	あまりあてはまらない	3.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	10.7%	30.0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
去勢を行う場合、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可能		81.6%						0.4%		
な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っている。	ややあてはまる	15.1%		8:	1.6%		15.1%	2.9%	0	0
	あまりあてはまらない	2.9%	50 <mark>.</mark> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.4%	JU:U%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
断尾を行う場合、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可能	あてはまる	85.5%						1.3%		
な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っている。	ややあてはまる	11.3%			85.5%	i	11.3%	2.0%	0	0
CROSS CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTR										
	あまりあてはまらない	2.0%	50 <mark>.</mark> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		

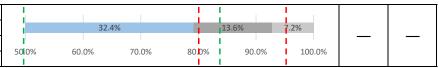
歯切りを行う場合、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可	あてはまる	82.4%				- 1				
能な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っている。	ややあてはまる	9.8%		87	2.4%		9.8% 2.3	<b>%</b> 5.5%		0
	あまりあてはまらない	2.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%	_	0
	あてはまらない	5.5%	50.0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
歯切りを行う場合、歯の先端のみをやすりで研磨するか、	あてはまる	86.5%								
ニッパーで適切に切断している。	ややあてはまる	6.0%			86.5%		6.0%	6.7%		0
	あまりあてはまらない	0.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	0.89   90.0%	100.0%	_	0
	あてはまらない	6.7%	1	00.076	70.076	80.0%	90.076	100.076		
耳刻、耳標等の個体識別は、訓練を受けた者が、豚の痛み、		78.2%								
	ややあてはまる	14.1%		78.29	%		14.1% 3	2% 4.5%		0
ている。	あまりあてはまらない	3.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	0
	あてはまらない	4.5%	1	00.076	70.076	80.0%	90.076	100.076		
オールイン・オールアウトを行う場合、新しい群の導入前に洗		78.0%								
浄、消毒及び乾燥を行っている。	ややあてはまる	12.8%		78.0%	6	12	3.4%	5.8%		0
	あまりあてはまらない	3.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		0
	あてはまらない	5.8%	30.076	00.076	70.076	80.0%	90.0%	100.076		
疾病に罹患し、又は損傷しているおそれのある豚が確認され		66.4%						0.2%		
た場合、可能な限り丁寧に移動させ、隔離し、迅速に手当を	ややあてはまる	28.0%		66.4%		28,0%		5.4%		0
行っている。	あまりあてはまらない	5.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		0
	あてはまらない	0.2%	1	00.076	70.076	80.0%	90.076	100.076		
	あてはまる	51.0%	5 <b>1</b> .0%							
を決めるため、獣医師による速やかな診断を受けている。	ややあてはまる	28.8%		28.	8%		13.1%	7.1%		
	あまりあてはまらない	13.1%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	7.1%	30.070	00.070	70.070	00.070	J0.070	100.070		
豚舎の清掃、洗浄及び消毒を行い、施設、設備等を清潔に	あてはまる	79.9%						0.2%		
保っている。	ややあてはまる	16.6%		79.9	9%		16.6%	3.3%		0
	あまりあてはまらない	3.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		0
	あてはまらない	0.2%	30:070	00.070	70.070	00.070	J0.070	100.070		
家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守する		71.9%						1.3%		
とともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝	ややあてはまる	22.5%		71.9%		22.5	%	4.4%		0
染性疾病の発生予防に必要な知識を習得している。	あまりあてはまらない	4.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		0
	あてはまらない	1.3%	30.070	00.070	70.070	30.070	30.070	100.070		
病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入		66.0%				;	<u> </u>	0.4%		
及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除してい		30.6%		66.0%		30.6%		2.9%		0
る。	あまりあてはまらない	2.9%	50.0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.4%	30.070	00.070	70.070	50.070	50.076	100.076		
アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に		35.4%								
付けている。	ややあてはまる	43.2%		43.29	%		15.3%	6.1%		
	あまりあてはまらない	15.3%	50.0%	60.0%	70.0%	80. <mark>0</mark> %	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	6.1%	30.0%	00.0%	70.070	60.0%	30.0%	100.0%		

豚の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数	あてはまる	57.9%		1		!				
の飼養者等を確保している。	ややあてはまる	31.4%	57.9%		31.4%		8.2%	2.5%		0
	あまりあてはまらない	8.2%	50000	50.00/	70.00/	00 00/		100.00/	_	0
	あてはまらない	2.5%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
発育段階等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量ともに満	あてはまる	86.5%	l l					0.4%		
たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱し	ややあてはまる	12.2%			86.5%		12.2%		0	0
ないように管理している。	あまりあてはまらない	0.8%	50 <b>.</b> 0%			20 000			0	0
	あてはまらない	0.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
全ての豚が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取で	あてはまる	88.4%						0.2%		
きるよう、給餌及び給水の設備を設置している。	ややあてはまる	10.5%			88.4%		10.5%		0	0
	あまりあてはまらない	0.8%	50 <b>.</b> 0%	60.00/	70.00/	80. <b>b</b> %	90.0%	100.0%	O	0
	あてはまらない	0.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行ってい	あてはまる	83.6%						0.4%		
る。	ややあてはまる	14.3%			83.6%		14.3%	1.7%	0	0
	あまりあてはまらない	1.7%	50.0%	60.00/	70.00/	80. <b>b</b> %	00.0%	100.00/	O	0
	あてはまらない	0.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
豚舎は、安全かつ効率的に、苦痛を与えないよう豚を管理	あてはまる	79.1%						0.2%		
し、豚が動けるようにしている。	ややあてはまる	19.6%		79	1%		19.6%	1.0%		0
	あまりあてはまらない	1.0%	50 <b>.</b> 0%	60.00/	70.00/	00 00/	00.0%	100.00/	_	0
	あてはまらない	0.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%		
疾病に罹患した、損傷した又は異常行動を示す豚を治療や	あてはまる	58.4%								
観察するための隔離豚房を設けている。	ややあてはまる	23.3%	58.4%		23.3%		13.3%	5.0%		
	あまりあてはまらない	13.3%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>b</b> %	90.0%	100.0%	_	_
	あてはまらない	5.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
ストール飼養を実施している場合、ストールは、壁や上の棒	あてはまる	85.2%						0.2%		
にぶつかることなく自然な姿勢で起立できるようにしている。	ややあてはまる	12.1%			85.2%		12.1%	2.6%	0	0
	あまりあてはまらない	2.6%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> b%	90.0%	100.0%	0	0
	あてはまらない	0.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
ストール飼養を実施している場合、ストールは、隣の豚を邪	あてはまる	67.1%				i		0.5%		
魔せず横臥できる適切な大きさのものを用いている。	ややあてはまる	28.0%		67.1%		28.0%		4.4%		0
	あまりあてはまらない	4.4%	50 <b>l</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> b%	90.0%	100.0%	_	)
	あてはまらない	0.5%	1	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
群飼している場合、全ての豚が同時に横臥し、立ち上がって		75.8%						1.5%		
自由に動き、飼料や水を摂取でき、休息場所と排せつ場所	ややあてはまる	22.1%		75.8%	6		22.1%	0.6%		0
が分離され、攻撃的な豚を避けられる十分な空間を設けてい		0.6%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>b</b> %	90.0%	100.0%		0
<b>్</b> తం	あてはまらない	1.5%	30.0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
豚が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っ		68.4%				1 1		0.4%		
ている。	ややあてはまる	28.4%		68.4%		28.49	6	2.9%		0
	あまりあてはまらない	2.9%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> b%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.4%	30.076	00.076	70.070	00.076	30.076	100.070		

家舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮		74.1%						0.4%		
は空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	ややあてはまる	23.7%		74.1%			23.7%	1.8%		0
	あまりあてはまらない	1.8%	50 <b>.</b> 0%	60.00/	70.00/	00 00/	00.00/	400.00/	_	
	あてはまらない	0.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
豚の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリス		36.3%				ļ.				
・等(その他類似するチェックシートを含む。)を用いるなど、	ややあてはまる	31.1%		31.1%		24.1%		8 5%		
アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状を	あまりあてはまらない	24.1%	50l0%	60.0%	70.0%	80.b%	90.0%	100.0%	_	
<b>隺認している。</b>	あてはまらない	8.5%	1	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マ	あてはまる	41.2%				ļ	l I			
ニュアル(緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの)等を整		27.0%		27.0%		21.2%	10	). <mark>7</mark> %		
<b>帯している。</b>	あまりあてはまらない	21.2%	50 <b>l</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	l 90.0%	100.0%		
	あてはまらない	10.7%	30.076	00.070	70.070	00.070	JU.U70	100.070		
も機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係		35.6%								
者と共有している。	ややあてはまる	32.9%		32.9%		20.8%	10	.7%		
	あまりあてはまらない	20.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	10.7%	1	00.076	70.076	80.078 I	30.076	100.076		
自然災害等の影響により、豚や豚舎等に被害が生じるおそ	あてはまる	49.2%								
	ややあてはまる	34.8%			34.8%		11.9%	4.1%		
	あまりあてはまらない	11.9%	50 <b>l</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	4.1%	1	00.076	70.076	80.076	30.076	100.076		
警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推	あてはまる	51.7%	51.7%							
<b>奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。</b>	ややあてはまる	27.5%		27	'.5%		13.2%	7.7%		
	あまりあてはまらない	13.2%	50 <b>l</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	7.7%	1	00.070	70.070	1	1 30.070	100.070		
	あてはまる	87.1%						0.8%		
ffを持って家畜を輸送している。	ややあてはまる	10.8%			87.1%		10.8%	1.2%	0	0
	あまりあてはまらない	1.2%	50l0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.8%	1	00.070	70.070	1	30.070	100.070		
前送が家畜にとって過度な負担とならないよう、また、不要な		84.6%						1.4%		
ストレスを与えないよう注意している。	ややあてはまる	12.7%			84.6%		12.7%	1.2%	0	0
	あまりあてはまらない	1.2%	50l0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> D%	90.0%	100.0%	J	
	あてはまらない	1.4%	1	00.070	70.070	1	I	100.070		
<b>兪送にかかる総時間は最小限となるようにしている。</b>	あてはまる	88.5%						1.8%		
	ややあてはまる	9.2%			88.5%		9.29	6 0.4%	0	0
	あまりあてはまらない	0.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.8%	1	00.070	70.070	1	. 50.078 I	100.076		
家畜の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の		49.8%								
中にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関す	ややあてはまる	25.8%		25.8%		14.2	% 10	).3%		
る事項が盛り込まれている。	あまりあてはまらない	14.2%	50 <b>l</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	10.3%	1	00.070	70.070	JU 10/0	. 50.078	100.076		

獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安 楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安 楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。

あてはまる	46.8%
ややあてはまる	32.4%
あまりあてはまらない	13.6%
あてはまらない	7.2%



## R6本格調査の結果(採卵鶏)に対する「達成」水準の案(案の1と案の2)の比較

	1	中山人	案の2	シルバル	·· 小十木 0	案の1案の	Vる場合にC D2 案(			• • •
1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	ナナルナフ	割合	*02			未の一年の	72 <del>X</del> (	7	案1	案2
1日1回以上、鶏の飼養環境や健康状態を確認し、飼養管理に関することは、日本はおはまないました。		70.8%		70.00/		17.00/	5.40/	4.00/		
に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	ややあてはまる	17.9%		70.8%		17.9%	6.4%	4.9%		0
	あまりあてはまらない	6.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	4.9%				- ! !	!			
鶏に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを	あてはまる	91.7%				- ; ;		0.7%		
避けるなど、可能な限り鶏を丁寧に取り扱っている。	ややあてはまる	7.1%			91.7%	1	7.1	% 0.5%	0	0
	あまりあてはまらない	0.5%	500%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		0
	あてはまらない	0.7%	I	00.070	70.070	1 1	J0.070	100.070		
捕鳥の際は、ストレス及び損傷等を最小限に抑えるよう努	あてはまる	87.0%				- ! !		1.5%		
め、首又は翼の先端を持って取り上げないようにしている。	ややあてはまる	9.6%			87.0%		9.6%			
	あまりあてはまらない	2.0%	5010%	50.007	70.00/	00 000		2.0%	0	0
	あてはまらない	1.5%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
ビークトリミングは、熟練した者が可能な限り若齢の時に実	あてはまる	90.6%	Ţ			1.1		0.0%		
施している。	ややあてはまる	8.2%			90.6%		8.2		_	_
<b>20</b> 4. <b>3</b> 0	あまりあてはまらない	1.2%	1			1. !		1.2%	0	0
	あてはまらない	0.0%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
ビークトリミングは、痛みを最小限に抑え、出血を少なくする	あてはまる	91.7%	j			1 1	i	0.0%		
方法で、必要最小限の部分のみを取り除いている。	ややあてはまる	7.1%			91.7%		7.1	%		
	あまりあてはまらない	1.2%				1 !	!	1.2%	0	0
	あてはまらない	0.0%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
ビークトリミング後は、止血しているか注意深く観察し、必要	あてはまる	75.0%	į			1.1	i			
に応じてビタミン剤を投与する等の処置を行っている。	ややあてはまる	13.1%	-	75.0%		13.1%	7.1%	4.8%		
	あまりあてはまらない	7.1%	1			1 1	i		_	0
	あてはまらない	4.8%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
換羽処理の際、24時間以上の絶食は行わないようにしてい	あてはまる	26.4%	į.			i i	i i			
る。	ややあてはまる	36.6%		36.6%	7.9%	1 2	9.2%			
	あまりあてはまらない	7.9%	1			i i	i		_	_
	あてはまらない	29.2%	50 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
換羽処理の際、常に飲水可能としている。	あてはまる	97.3%				- i i	i			
授物処理の際、市に飲水可能としている。	ややあてはまる	1.8%			97.3%			0.5% 1.8%		
	あまりあてはまらない	0.5%			37.37			0.5%	0	0
	あてはまらない	0.5%	5010%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		
検羽処理の際   遠切な火狼管理を実施している	あてはまる	1				-				
換羽処理の際、適切な光線管理を実施している。		89.5%			89.5%	<u>i i</u>	6.00/	2.3%		
	ややあてはまる	6.8%			89.5%		6.8%	1.4%	0	0
	あまりあてはまらない	1.4%	500%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	2.3%	1			1 1	1			

鶏舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保って	あてはまる	85.0%	1			1.1		0.0%		
いる。	ややあてはまる	12.5%			85.0%		12.5%			
	あまりあてはまらない	2.5%	50100/	50.00/	70.00/		00.00/	2.5%	0	0
	あてはまらない	0.0%	50 <b> </b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守する	あてはまる	81.1%	1			- ! !		0.2%		
とともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝	ややあてはまる	14.2%		8	31.1%		14.2%	4.5%		
染性疾病の発生予防に必要な知識を習得している。	あまりあてはまらない	4.5%	5010%	60.00/	70.00/	00.00%	00.00/	100.00/	0	0
	あてはまらない	0.2%	50 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		
病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入	あてはまる	84.1%	1			- ! !		0.2%		
及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除してい	ややあてはまる	14.4%			84.1%		14.4%		0	0
<b>వ</b> .	あまりあてはまらない	1.2%	5010%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	1.2% 100.0%	O	
	あてはまらない	0.2%	J0 076	00.076	70.076	1 1	30.076	100.0%		
アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に	あてはまる	46.9%				- ! !				
付けている。	ややあてはまる	36.1%			36.1%	1	13.0%	4.0%		
	あまりあてはまらない	13.0%	5010%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%	_	_
	あてはまらない	4.0%	I	00.070	70.070	1 1	30.070	100.070		
鶏の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数	あてはまる	71.6%				- ! !		0.5%		
の飼養者等を確保している。	ややあてはまる	23.6%		71.6%		23.6	%	4.2%		0
	あまりあてはまらない	4.2%	50 <b>i</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.5%	I	00.070	70.075	I I	30.070	100.070		
週齢や生産方法等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量	あてはまる	86.0%				- ! !		0.2%		
ともに満たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲	ややあてはまる	12.7%			86.0%		12.7%		0	0
を逸脱しないように管理している。	あまりあてはまらない	1.0%	5010%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	1.0%		
	あてはまらない	0.2%	I	00.070	70.070	I I	30.070	100.070		
全ての鶏が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取で	あてはまる	92.9%						0.2%		
きるよう、給餌及び給水の設備を設置している。	ややあてはまる	6.6%			92.9%		6	.6%	0	0
	あまりあてはまらない	0.2%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.2%		
	あてはまらない	0.2%	I	001070	70.075	I I	30.070	100.070		
給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行ってい	あてはまる	86.8%				-		0.5%		
<b>్</b> వ	ややあてはまる	11.5%			86.8%		11.5%	1.20/	0	0
	あまりあてはまらない	1.2%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	1.2% 100.0%		
	あてはまらない	0.5%	i			i i		i		
食鳥処理前は、輸送等の時間も考慮した上で、過度に長時	あてはまる	82.7%				-				
間の絶食は行わないようにしている。	ややあてはまる	11.1%			82.7%			5.2%		0
	あまりあてはまらない	1.0%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	№ 100.0%		
	あてはまらない	5.2%	i			i i				
気象環境の変動によって鶏舎内の温度及び湿度が大きく変	あてはまる	73.0%						1.5%		
化しないよう維持及び管理している。	ややあてはまる	19.9%		73.0%		19.9%	6 5	6%		0
	あまりあてはまらない	5.6%	50 <b> </b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.5%	i			<u>i i</u>		<u> </u>		

	あてはまる	74.8%						0.2%		
	ややあてはまる	20.1%		74.8%		20.	1%	4.9%		0
	あまりあてはまらない	4.9%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	I I 100.0%	_	
	あてはまらない	0.2%	30,070	00.070	70.070	80.070	30.070	100.070		
同じ鶏群の全ての鶏に対し、妨げられることなく、同時に休息		68.5%				1 1		0.7%		
し、正常な姿勢をとる等のために十分な空間を与えている。	ややあてはまる	24.4%		68.5%		24.4%	(	.4%		0
	あまりあてはまらない	6.4%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>p</b> %	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	0.7%	1	00.070	70.070	00.070	30.070	100.070		
異常な行動がみられる場合、飼養空間の再設定等の是正措		66.4%				- 1		I		
置を講じている。	ややあてはまる	19.8%		66.4%		19.8%	11.2%	2.6%		0
	あまりあてはまらない	11.2%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	I 100.0%	_	
	あてはまらない	2.6%	30,070	00.070	70.070	00.070	30.070	100.076		
ケージで飼養している場合、飼料及び水の摂取が可能で、自	あてはまる	66.9%						0.9%		
	ややあてはまる	26.5%		66.9%		26.5%		.8%		0
	あまりあてはまらない	5.8%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	0.9%	30,070	00.070	70.070	00.070	30.070	100.076		
	あてはまる	86.2%				1.1		1.2%		
物が下段の鶏の上に落ちないよう考慮され、全ての鶏が十	ややあてはまる	12.0%			86.2%		12.0%		0	0
分に観察でき、必要な時は、ケージから容易に鶏を取り出せ	あまりあてはまらない	0.6%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	0.6% 100.0%		
るよう配置している。	あてはまらない	1.2%	30,0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまる	67.3%	1			1.1		!		
	ややあてはまる	24.0%		67.3%		24.0%	5.89	<b>6</b> 2.9%		0
照度の低減、飼料形状の調整(細粒化)、付帯設備の提供等	あまりあてはまらない	5.8%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%	_	
を行っている。	あてはまらない	2.9%	30,0%	00.076	70.076	80.0%	30.076	100.0%		
鶏が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っ	あてはまる	70.3%	1			1.1		1.2%		
ている。	ややあてはまる	25.0%		70.3%		25.0%		3.4%		0
	あまりあてはまらない	3.4%	50,0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.2%	30,0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
鶏舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮	あてはまる	80.6%	1			1.1		1.0%		
な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	ややあてはまる	16.9%		80	0.6%		16.9%			
	あまりあてはまらない	1.5%	50,0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	1.5%	0	0
	あてはまらない	1.0%	30.0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
光線管理に当たっては、鶏舎内に適切な継続した明期を設	あてはまる	80.6%				1. 1.		2.5%		
け、鶏の正常な行動や飼養者等による適切な管理のため、	ややあてはまる	15.2%		80	0.6%		15.2%			0
十分な照度を均等に照射している。	あまりあてはまらない	1.7%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	1.7% 100.0%	0	
	あてはまらない	2.5%	50.0%	60.0%	70.0%	80. <b>p</b> %	90.0%	100.0%		
「採卵鶏の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェッ	あてはまる	41.3%	į			i i		i		
クリスト等(その他類似するチェックシートを含む。)を用いる	ややあてはまる	29.6%		29.6%		19,1%	10	0%		
など、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現	あまりあてはまらない	19.1%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	90.00/	90.0%	100.0%	_	_
状を確認している。	あてはまらない	10.0%	50.0%	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		

災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マ	あてはまる	51.0%	51.0%			!!	!		
ニュアル(緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの)等を整	ややあてはまる	22.4%		22.4%		16.3%	10.3%		
備している。	あまりあてはまらない	16.3%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%   100.0%	_	
	あてはまらない	10.3%	30,0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0% 100.0%		
危機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係	あてはまる	42.2%					!		
者と共有している。	ややあてはまる	31.1%		31.1%		14.8%	11.9%		
	あまりあてはまらない	14.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%   100.0%		
	あてはまらない	11.9%	30,070	00.070	70.070	00.070	30.070		
自然災害等の影響により、鶏や鶏舎等に被害が生じるおそ	あてはまる	58.5%					! !		
れがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	ややあてはまる	29.9%	58.59	%	29.9%		7.9% 3.7%		0
	あまりあてはまらない	7.9%	50.0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0% 100.0%		
	あてはまらない	3.7%	1	00.070	70.070	00.070	30.070		
警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推	あてはまる	65.3%							
奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	ややあてはまる	18.4%		65.3%	18.4	%	11.0% 5.2%		
	あまりあてはまらない	11.0%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0% 100.0%		
	あてはまらない	5.2%				i			
鶏の輸送に携わる全ての者が、鶏を丁寧に取扱い(首や羽	あてはまる	74.1%							
の先端を持たないなど)、責任を持って鶏を輸送している。	ややあてはまる	15.5%		74.1%		15.5%	9.3%		0
	あまりあてはまらない	1.1%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0% 100.0%		
	あてはまらない	9.3%	i			i i	i		
輸送が鶏にとって過度な負担とならないよう、また、不要なス	あてはまる	71.7%							
トレスを与えないよう注意している。	ややあてはまる	18.4%		71.7%		18.4%	1.6%	_	0
	あまりあてはまらない	1.6%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0% 100.0%		
	あてはまらない	8.3%	i			i i	i		
輸送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	あてはまる	75.5%							
	ややあてはまる	14.0%		75.5%		14.0%	9.7%		0
	あまりあてはまらない	0.8%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0% 100.0%		
50 - 10 W 1 VE W 2 VE 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	あてはまらない	9.7%					į		
	あてはまる	47.6%							
にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関する	ややあてはまる	27.6%		27.6%		12.4%	12.4%	_	
事項が盛り込まれている。	あまりあてはまらない	12.4%	50 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0% 100.0%		
Whenter a sale we to see the second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second s	あてはまらない	12.4%				1 1	į		
獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安	あてはまる	53.0%	53.0%						
楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安	ややあてはまる	27.1%		27	'.1%	10.0	10.0%		
楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	あまりあてはまらない	10.0%	50 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0% 100.0%		
	あてはまらない	10.0%					1		

## R6本格調査の結果(肉用鶏)に対する「達成」水準の案(案の1と案の2)の比較

		割合	案の2		が小牛来で	案の1案の		ກ <sub>1</sub>	案1	案2
1日1回以上、鶏の飼養環境や健康状態を確認し、飼養管理	あてはまる	99.0%	Ţ	1	1	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		0.2%		
に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	ややあてはまる	0.7%			99.0	%		0.7%		
	あまりあてはまらない	0.2%	5010%	60.00/	70.0%	00 00/	00.00/	0.2%	0	0
	あてはまらない	0.2%	5010%	60.0%	70.0%	80.b% I	90.0%	100.0%		
鶏に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを	あてはまる	99.0%	1			1 1		0.0%		
避けるなど、可能な限り鶏を丁寧に取り扱っている。	ややあてはまる	0.8%			99.0	%		0.8%	0	0
	あまりあてはまらない	0.0%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D% I	90.0%	0.2% 100.0%	O	
	あてはまらない	0.2%	JUIU%	00.0%	70.0%	00.076	90.0%	100.0%		
捕鳥の際は、ストレス及び損傷等を最小限に抑えるよう努	あてはまる	96.5%	1			1 1		1.5%		
め、首又は翼の先端を持って取り上げないようにしている。	ややあてはまる	1.8%			96.5%			1.8%	0	0
	あまりあてはまらない	0.3%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D% I	90.0%	0.3%	O	
	あてはまらない	1.5%	1	00.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
ビークトリミングは、熟練した者が可能な限り若齢の時に実	あてはまる	97.1%	1			1 !		0.0%		
施している。	ややあてはまる	2.9%			97.1%			2.9%	0	0
	あまりあてはまらない	0.0%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.b% I	90.0%	0.0% 100.0%	O	
	あてはまらない	0.0%	1	00.0%	70.0%	00.076	90.0%	100.0%		
ビークトリミングは、痛みを最小限に抑え、出血を少なくする	あてはまる	97.1%	1			1 1		0.0%		
方法で、必要最小限の部分のみを取り除いている。	ややあてはまる	2.9%			97.1%			2.9%	0	0
	あまりあてはまらない	0.0%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D% I	90.0%	0.0% 100.0%		
	あてはまらない	0.0%	I	00.076	70.076	80.076	90.076	100.076		
	あてはまる	95.7%						0.0%		
に応じてビタミン剤を投与する等の処置を行っている。	ややあてはまる	4.3%			95.7%			4.3%	0	0
	あまりあてはまらない	0.0%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D% I	90.0%	0.0% 100.0%		
	あてはまらない	0.0%	I	00.070	70.070	1 1	30.070	100.070		
	あてはまる	98.9%				- 1 1		0.0%		
いる。	ややあてはまる	1.1%			98.99			1.1%	0	0
	あまりあてはまらない	0.1%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D% I	90.0%	0.1% 100.0%		
	あてはまらない	0.0%	I	00.070	70.070	I I	30.070	100.070		
家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守する	あてはまる	98.2%						0.1%		
とともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝	ややあてはまる	1.6%			98.29			1.6%	0	0
染性疾病の発生予防に必要な知識を習得している。	あまりあてはまらない	0.1%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D% I	90.0%	0.1% 100.0%		
	あてはまらない	0.1%	I	00.070	70.070	1	30.070	100.070		
病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入		85.5%						0.1%		
及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除してい		14.4%			85.5%	1	14.4%		0	0
<b>්</b>	あまりあてはまらない	0.0%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D% I	90.0%	0.0% 100.0%		
	あてはまらない	0.1%	I	00.070	, 0.0,0	I I	50.070	100.073		

アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に	あてはまる	42.8%				!!!				
付けている。	ややあてはまる	31.4%		31.4%		15.5%	10.3	%		
	あまりあてはまらない	15.5%	1			1 !			_	
	あてはまらない	10.3%	50 0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	100.0%		
鶏の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数	あてはまる	86.6%	1			!!		0.2%		
の飼養者等を確保している。	ややあてはまる	11.6%			86.6%		11.6%	0.270		
	あまりあてはまらない	1.6%	50-00/	50.00/	70.00/	00.000	00.007	1.6%	0	0
	あてはまらない	0.2%	50 <b> </b> 0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	100.0%		
日齢や生産方法等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量	あてはまる	99.2%	1			1 !		0.0%		
ともに満たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲	ややあてはまる	0.6%			99.2	%		0.6%	C	0
を逸脱しないように管理している。	あまりあてはまらない	0.2%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	0.2% 100.0%	0	
	あてはまらない	0.0%	30 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	6U.D%	90.0%	100.0%		
全ての鶏が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取で	あてはまる	99.7%	1					0.0%		
きるよう、給餌及び給水の設備を設置している。	ややあてはまる	0.3%			99.7	%		0.3%	0	0
	あまりあてはまらない	0.1%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.1% 100.0%	0	O
	あてはまらない	0.0%	J0 076	00.076	70.076	80.0%	90.0%	100.076		
給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行ってい	あてはまる	99.0%	1					0.0%		
්ිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිිි	ややあてはまる	1.0%			99.0	%		1.0%	0	0
	あまりあてはまらない	0.0%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	0.0% 100.0%	0	
	あてはまらない	0.0%	J0 070	00.070	70.070	00.070	50.070	100.070		
食鳥処理前は、輸送等の時間も考慮した上で、過度に長時	あてはまる	98.3%	1					0.3%		
間の絶食は行わないようにしている。	ややあてはまる	1.3%			98.3%	6		1.3%	C	0
	あまりあてはまらない	0.1%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	0.1% 100.0%	)	
	あてはまらない	0.3%	I	00.070	70.070	1	30.070	100.070		
気象環境の変動によって鶏舎内の温度及び湿度が大きく変	あてはまる	74.9%						0.1%		
化しないよう維持及び管理している。	ややあてはまる	24.9%		74.9%			24.9%	0.20/		0
	あまりあてはまらない	0.2%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.2% 100.0%	_	
	あてはまらない	0.1%	I	001070	70.070	1	30.070	2001070		
鶏舎等は、損傷の原因となるような突起物や破損個所がな	あてはまる	71.8%						0.1%		
く、清掃及び消毒が容易な構造としている。	ややあてはまる	27.4%		71.8%		2	7.4%	0.704		0
	あまりあてはまらない	0.7%	1 50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.7% 100.0%		
	あてはまらない	0.1%	I	001070	70.070		30.070	2001070		
屋外エリアを設けている場合、屋外エリアは、捕食動物や野	あてはまる	77.4%								
鳥との接触及び疾病のリスク並びに不利な気候条件の影響	ややあてはまる	4.9%		77.4%	5	4.9%0.0%	17.7%			
を防止している。	あまりあてはまらない	0.0%	50 <b> </b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	17.7%	i							
敷料や床面の適切な管理により、コクシジウム症、その他の	あてはまる	90.7%						0.1%		
寄生虫症の発生に注意している。	ややあてはまる	9.1%			90.7%		9.1	0.1%	0	0
	あまりあてはまらない	0.1%	50 <b> </b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	Ü	
	あてはまらない	0.1%	i			<u> </u>				

同じ鶏群の全ての鶏に対し、妨げられることなく、同時に休息	あてはまる	83.8%	1	1		1	I	I ,		
し、正常な姿勢をとる等のために十分な空間を与えている。	ややあてはまる	6.3%			83.8%		6.3% 8.79	<b>6</b> 1.2%		0
	あまりあてはまらない	8.7%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.D% 	90.0%	100.0%		
異常な行動がみられる場合、飼養空間の再設定等の是正措	あてはまる	90.1%	1			!	!	1.6%		
置を講じている。	ややあてはまる	7.9%			90.1%		7.9%		0	0
	あまりあてはまらない	0.4%	50,0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	0.4%		
	あてはまらない	1.6%	30.0%	00.0%	70.0%	6U.D%	90.0%	100.0%		
鶏が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っ	あてはまる	74.6%	1			!		0.0%		
ている。	ややあてはまる	25.3%		74.	6%		25.3%			0
	あまりあてはまらない	0.1%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.1% 100.0%		
	あてはまらない	0.0%	30,0%	00.076	70.0%	80.07	30.0%	100.0%		
鶏舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮	あてはまる	89.6%	1					0.0%		
な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	ややあてはまる	10.2%			89.6%		10.2	%	0	0
	あまりあてはまらない	0.2%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.2% 100.0%		
	あてはまらない	0.0%	30,0%	00.076	70.0%	80.07	90.0%	100.0%		
光線管理に当たっては、鶏舎内に適切な継続した明期を設	あてはまる	82.1%	1					!		
け、鶏の正常な行動や飼養者等による適切な管理のため、	ややあてはまる	10.4%			82.1%		10.4% 6.	0% 1.5%		0
十分な照度を均等に照射している。	あまりあてはまらない	6.0%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.5%	30,070	00.070	70.070	00.070	30.070	100.070		
鶏のストレスを低減し、通常の行動や歩様及び脚の健康の	あてはまる	55.6%						!		
増進のため、各24時間の間に継続した暗期を適切に設けて	ややあてはまる	4.5%	5.	5.6% 4.5%	15.1%		24.8%			
いる。	あまりあてはまらない	15.1%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	24.8%	30,070	00.070	70.070	00.070	J 30.070	100.070		
「ブロイラーの飼養管理に関する技術的な指針※」に関する	あてはまる	43.2%	1							
チェックリスト等(その他類似するチェックシートを含む)を用	ややあてはまる	10.6%	10.	6%	25.6%		20.7%			
いるなど、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理	あまりあてはまらない	25.6%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
の現状を確認している。	あてはまらない	20.7%	1	001070	70.075		1	100.070		
災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マ	あてはまる	57.0%	1							
	ややあてはまる	12.7%		57.0% 1	2.7%	18.8 <mark>%</mark>	11.4	%		
備している。	あまりあてはまらない	18.8%	50,0%	60.0%	70.0%	80 <b>,</b> 0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	11.4%	30,070		70.075	1	1	100.070		
危機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係	あてはまる	49.6%	1							
者と共有している。	ややあてはまる	10.9%		10.9%	27	.6%	11.99	%		
	あまりあてはまらない	27.6%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	11.9%	J J J	33.070	, 0.070	I	I	1		
自然災害等の影響により、鶏や鶏舎等に被害が生じるおそ	あてはまる	87.8%						0.1%		
れがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	ややあてはまる	10.9%			87.8%		10.9%	1.10	0	0
	あまりあてはまらない	1.1%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	1.1% 100.0%		
	あてはまらない	0.1%	35,570	33.070	, 5.570	I	1	100.070		

	あてはまる	72.9%	1					0.7%		
奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	ややあてはまる	25.8%		72.9%			25.8%			
	あまりあてはまらない	0.6%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.6%		
	あてはまらない	0.7%	30,0%	00.076	70.0%	80.p76	90.0%	100.0%		
	あてはまる	95.9%	1					1.4%		
の先端を持たないなど)、責任を持って鶏を輸送している。	ややあてはまる	2.2%			95.9%			2.2%		
	あまりあてはまらない	0.5%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	0.5%		
	あてはまらない	1.4%	1	00.070	70.070	JO.,	30.070	100.070		
輸送が鶏にとって過度な負担とならないよう、また、不要なス		95.2%	1					!		
	ややあてはまる	2.2%			95.2%			2.21/21/4%		
	あまりあてはまらない	1.2%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.4%	I			i		1		1
	あてはまる	84.5%						!		
	ややあてはまる	13.8%			84.5%		13.8%	0.5.2%	0	
	あまりあてはまらない	0.5%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.2%	i			i		i		1
鶏の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の中	-	25.8%								
	ややあてはまる	19.1%		34	4.6%		20.5%	•		
	あまりあてはまらない	34.6%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	20.5%	i			i i	i	i		1
	あてはまる	55.4%						!		
	ややあてはまる	22.9%	55.4%		22.9%		17.2%	4.4%		
	<u>あまりあてはまらない</u>	17.2%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		ĺ
	あてはまらない	4.4%				<u>        i                            </u>		<u>i                                     </u>		

## R6本格調査の結果(馬)に対する「達成」水準の案(案の1と案の2)の比較

		割合	案の2	201711	>	案の1案の	2 案	<u>თ</u> 1	<u>× 84                                    </u>	案2
1日1回以上、馬の飼養環境や健康状態を確認している。	あてはまる	89.7%	Ţ			<u> </u>		0.3%	<i>&gt;</i> \\ '	
	ややあてはまる	9.6%			89.7%		9.6		_	
	あまりあてはまらない	0.5%				1 1		0.5%	0	0
	あてはまらない	0.3%	5010%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	100.0%		
飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	あてはまる	38.8%	!			1.1		!		
	ややあてはまる	28.9%		28.9%		18.6%	13.6%			
	あまりあてはまらない	18.6%	50 <b>.</b> 10%	60.0%	70.0%	80. <b>b</b> %	90.0%	100.00/		
	あてはまらない	13.6%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
馬に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを	あてはまる	87.3%				- 1 1		0.3%		
避けるなど、可能な限り馬を丁寧に取り扱っている。	ややあてはまる	11.7%			87.3%	1 1	11.7%		0	0
	あまりあてはまらない	0.8%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>b</b> %	90.0%	0.8%	O	O
	あてはまらない	0.3%	3010%	00.0%	70.0%	00.0%	90.0%	100.0%		
こまめに蹄を観察し、定期的に削蹄を行っている。	あてはまる	78.0%				- 1 1		1.8%		
	ややあてはまる	18.4%		78.0	)%		18.4%			0
	あまりあてはまらない	1.8%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	1.8%	_	
	あてはまらない	1.8%	1	00.076	70.076	1 1	30.076	100.0%		
	あてはまる	82.7%				- 1 1		I I		
供、適切な気温、衛生等)となるよう、十分に清掃し清潔に	ややあてはまる	15.8%			82.7%	j 10	15.8%	00988%	0	0
保っている。	あまりあてはまらない	0.9%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>b</b> %	90.0%	100.0%	O	
	あてはまらない	0.6%	I	00.070	70.070	I I	30.070	I		
	あてはまる	88.0%				-		0.9%		
等を提供している。	ややあてはまる	9.9%			88.0%	1 1	9.9%		0	0
	あまりあてはまらない	1.2%	5010%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	1.2% 100.0%	O	
	あてはまらない	0.9%	I	00.070	70.070	I I	30.070	100.070		
出生した子馬には、可能な限り早く、伝染性疾病に感染する	あてはまる	92.3%				-		0.3%		
恐れのない良質な初乳を十分量飲ませている。	ややあてはまる	6.8%			92.3%	1 1	6	8%	0	0
	あまりあてはまらない	0.6%	50 <b>1</b> 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> l0%	90.0%	0.6% 100.0%	O	
	あてはまらない	0.3%	I	00.070	70.070	1 1	30.070	100.070		
子馬の離乳は、栄養要求量を満たす飼料を自ら摂取できる	あてはまる	88.2%				-		1.5%		
ようになってから行っている。	ややあてはまる	9.0%			88.2%	1 1	9.0%		0	0
	あまりあてはまらない	1.2%	50 0%	60.0%	70.0%	80 <b>.</b> 0%	90.0%	1.2%	O	
	あてはまらない	1.5%	I	001070	70.070	1 1	30.070	I		
	あてはまる	82.7%				- 11		I I		
及び時期について獣医師の指導を求め、離乳時期と重なら	ややあてはまる	13.0%			82.7%			3.1% 1.2%	0	0
ないよう考慮する等、馬へのストレスの防止や感染症の予防	あまりあてはまらない	1.2%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>D</b> %	90.0%	100.0%	0	
に努めている。	あてはまらない	3.1%	I			1 1		I		

個体識別を目的としてマイクロチップの挿入や烙印を実施す	あてはまる	67.2%			ı	- !				
る場合は、合併症の兆候を識別できるよう、使用する方法に	ややあてはまる	14.5%		67.2%	14.5	%	8.3% 10.0	0%		
関する知識を習得している。	あまりあてはまらない	8.3%	50 <b>,</b> 10%	60.0%	70.0%	80.D%	I 90.0%	100.0%	_	_
	あてはまらない	10.0%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
疾病に罹患し、又は損傷しているおそれのある馬が確認され	あてはまる	88.1%	1			Į.		1.1%		
た場合、可能な限り丁寧に移動させ、隔離し、獣医師による	ややあてはまる	10.3%			88.1%		10.3%		0	
速やかな診断を受ける等、迅速に手当を行っている。	あまりあてはまらない	0.5%	50,0%	60.0%	70.0%	80.D%		0.5% 100.0%	0	0
	あてはまらない	1.1%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0% I	100.0%		
疾病に罹患した馬又は損傷した馬について、治療等の対応	あてはまる	92.1%				I I		1.0%		
を決めるため、獣医師による速やかな診断を受けている。	ややあてはまる	6.5%			92.1%		6.	5%	0	0
	あまりあてはまらない	0.3%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D%		0.3% 100.0%	0	O
	あてはまらない	1.0%	I	00.070	70.070	I	I 30.070	100.070		
厩舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保って	あてはまる	82.2%				I I		1.3%		
いる。	ややあてはまる	15.5%		8	32.2%		15.5%		0	0
	あまりあてはまらない	1.0%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D%		1.0%	0	O
	あてはまらない	1.3%	1	00.070	70.070	I	I 30.070	100.070		
家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守する		52.4%	52.4%			I I				
とともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝	ややあてはまる	35.2%			35.2%	i i	9.8%	2.6%		0
染性疾病の発生予防に必要な知識を習得している。	あまりあてはまらない	9.8%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	2.6%	I	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入		63.6%				I i				
及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除してい		26.4%	$\epsilon$	63.6%	2	26.4%	8.4%	1.6%		0
්රි	あまりあてはまらない	8.4%	50,0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	1.6%	I	00.070	70.070	I	I 30.070	100.070		
アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に	あてはまる	32.1%				- 1				
付けている。	ややあてはまる	37.8%		37.8%		19.0%	11.1	%		
	あまりあてはまらない	19.0%	50,0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	11.1%	I	00.070	70.070	I	I 30.070	100.070		
	あてはまる	55.6%				- !				
の飼養者等を確保している。	ややあてはまる	33.1%	55.6%		33.1%	i i	8.7%	2.6%		0
	あまりあてはまらない	8.7%	50 <b>,</b> 0%	60.0%	70.0%	80.D%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	2.6%	I	00.070	70.070	I	1	100.070		
発育段階等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量ともに満		84.4%				- !		0.5%		
たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱し	ややあてはまる	14.3%			84.4%		14.3%		0	0
ないように管理している。	あまりあてはまらない	0.8%	50,0%	60.0%	70.0%	80.D%		0.8% 100.0%		
	あてはまらない	0.5%	I	00.070	, 0.0,0	I	I 30.075	200.073		
全ての馬が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取で	あてはまる	88.3%						0.8%		
きるよう、給餌及び給水の設備を設置している。	ややあてはまる	9.9%			88.3%		9.9%	1.000	0	0
	あまりあてはまらない	1.0%	50,0%	60.0%	70.0%	80. <b>D</b> %	90.0%	1.0% 100.0%	)	
	あてはまらない	0.8%	1			I	I			

給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行ってい	あてはまる	86.4%		1	ı	!		0.8%		
る。	ややあてはまる	11.5%			86.4%		11.5%		0	0
	あまりあてはまらない	1.3%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	1.3% 100.0%	O	)
	あてはまらない	0.8%	I	00.070	7 0.070	I	30.075	1001070		
厩舎内は、破損箇所によって馬が損傷しないよう修理を行う	あてはまる	83.1%						0.8%		
など適切に維持・管理している。	ややあてはまる	15.9%			83.1%		15.9%		0	0
	あまりあてはまらない	0.3%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>D</b> %	90.0%	0.3% 100.0%	O	)
	あてはまらない	0.8%	30,070	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
舎飼いされている馬は屋内のみでの飼養を避け、長時間屋	あてはまる	81.6%						1.1%		
内に閉じ込めないようにしている。	ややあてはまる	13.8%			81.6%		13.8%	3.4%	0	0
	あまりあてはまらない	3.4%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>D</b> %	90.0%	100.0%	O	)
	あてはまらない	1.1%	1	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
舎飼いされる全ての馬に対し、敷料を提供し、清潔で乾燥し	あてはまる	86.5%						0.8%		
た快適な横臥場所を提供している。	ややあてはまる	11.2%			86.5%		11.2%	1.104	0	0
	あまりあてはまらない	1.4%	50,0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	1.4% 100.0%	O	)
	あてはまらない	0.8%	I	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
放牧している場合、蹄の健康を保つため、放牧場の泥濘化	あてはまる	66.8%						0.8%		
(ぬかるみ)に注意している。	ややあてはまる	26.6%		66.8%		26,6%	5	.7%		0
	あまりあてはまらない	5.7%	50,0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%	_	)
	あてはまらない	0.8%	30,070	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
馬が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っ	あてはまる	65.5%						2.1%		
ている。	ややあてはまる	29.0%		65.5%		29.0%	3	.4%		0
	あまりあてはまらない	3.4%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%		)
	あてはまらない	2.1%	1	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
厩舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮	あてはまる	78.9%						1.3%		
な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	ややあてはまる	17.0%		78	.9%		17.0%	2.9%		0
	あまりあてはまらない	2.9%	50,0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%	_	)
	あてはまらない	1.3%	I	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
馬の正常な行動や飼養者等の日常作業に支障が生じないよ		80.5%				!		1.1%		
う、適切な照明設備等を設置している。	ややあてはまる	15.8%		8	0.5%		15.8%	2.6%	0	0
	あまりあてはまらない	2.6%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%	O	)
	あてはまらない	1.1%	I	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
厩舎内外の設備等は、可能な限り騒音を小さくするよう、設	あてはまる	69.7%								
置及び維持・運用している。	ややあてはまる	22.4%		69.7%		22.4%	6.3	3% 1.6%		0
	あまりあてはまらない	6.3%	50 <b>.</b> 0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	1.6%	1	00.070	70.070	I	30.070	100.070		
「馬の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリス		29.6%	1			- ! !				
ト等(その他類似するチェックシートを含む)を用いるなど、ア	ややあてはまる	30.7%	30	1.7%	24.5%	i i	15.1%			
ニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状を確	あまりあてはまらない	24.5%	50,0%	60.0%	70.0%	80. <b>0</b> %	90.0%	100.0%		_
認している。	あてはまらない	15.1%	00,070	33.070	. 5.0/0	I	33.070	100.070		

(害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マ	あてはまる	28.2%								
ュアル(緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの)等を整	ややあてはまる	28.2%	28.2%	6	28.5%		15.2%			
している。	あまりあてはまらない	28.5%	50,0%	60.0%	70.0%	80.00/	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	15.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80. <b>p</b> %	90.0%	100.0%		
た機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係	あてはまる	26.0%	j							
たと共有している。	ややあてはまる	28.8%	28.8%		29.6%		15.6%			
	あまりあてはまらない	29.6%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	15.6%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
然災害等の影響により、馬や厩舎等に被害が生じるおそ	あてはまる	47.8%				!!				
」がある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	ややあてはまる	30.6%		30.	6%	1	3.7% 7	8%		
	あまりあてはまらない	13.7%	50,0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	_
	あてはまらない	7.8%	30.0%	00.0%	70.0%	ου.μ <sub>70</sub>	90.0%	100.0%		
「報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推	あてはまる	34.3%	1			!!	!			
はする頻度を考慮し、定期的に点検している。	ややあてはまる	29.1%		29.1%	23	3.9%	12.7%			
	あまりあてはまらない	23.9%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	_	
	あてはまらない	12.7%	30.070	00.070	70.070	00.p/0	30.0%	100.070		
『畜の輸送に携わる全ての者が、家畜を丁寧に取扱い、責	あてはまる	87.1%						1.3%		
<del>「</del> を持って家畜を輸送している。	ややあてはまる	11.6%			87.1%		11.6%	0.0%	0	0
	あまりあてはまらない	0.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	O	
	あてはまらない	1.3%	I	001070	70.075		30.070	100.070		
〕送が家畜にとって過度な負担とならないよう、また、不要な		86.5%	1					1.1%		
トレスを与えないよう注意している。	ややあてはまる	11.9%			86.5%		11.9%	0.5%	0	0
	あまりあてはまらない	0.5%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	O	
	あてはまらない	1.1%	I	001070	70.075	I I	30.070	100.070		
〕送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	あてはまる	80.3%						1.1%		
	ややあてはまる	15.5%		80	0.3%		15.5%	3.2%	0	0
	あまりあてはまらない	3.2%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	O	
	あてはまらない	1.1%	i			1	55.575			
『畜の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の		60.5%				. ! !				
にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関す	ややあてはまる	25.4%	60	0.5%	25.4%	6	11.4%	2.6%		0
事項が盛り込まれている。	あまりあてはまらない	11.4%	50.0%	60.0%	70.0%	80,0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	2.6%	i			i i				
医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安		72.3%								
死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安	ややあてはまる	19.8%		72.3%		19.8%	4.1%	3.8%		0
﴿死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	あまりあてはまらない	4.1%	50,0%	60.0%	70.0%	80,0%	90.0%	100.0%		
	あてはまらない	3.8%								